

南山見公民館報

編集発行 南山見公民館

昭和56年9月30日発行

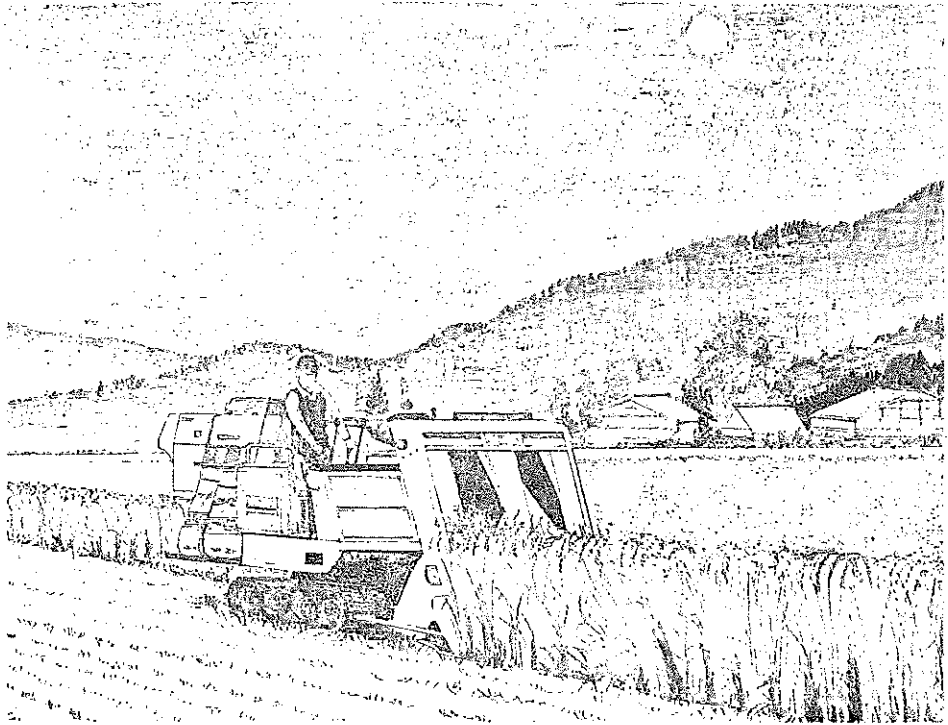
No. 12

富山県東砺波郡井波町

TEL(07638) 5176

八乙女

稲刈機
の
露
の
と
ふ
朝
金
一
緒



国の委嘱事業

PTA地域活動 親と子のふれあい

本年度、断より「PTA地域活動が、モデル地区として南山見に委託されました。毎日の様に新聞、テレビに出てくる青少年の非行のニュース、親としてまったく頭のない今日この頃であります。ある人が、現在の少年非行は年々低令化し、小・中学生の犯罪が増加している今日、小学生時代こそ規律ある生活が必要だと言いました。私達も、夏休み中、子供達と毎日の様に顔を合せ付き合い過ぎてきましたが、その中にはどのような言動が乱雑で、集中力がなく投げやりになる面が多く、又大人がついていけないほど理屈が多いのが特徴です。

これからは、家庭教育を第一としなければならぬと思っております。与え、あまやかしの過ぎた子供達がこのさびしい世の中に出てどう変わるかわかりませんが、お互いに親として自覚と責任ある行動で子供を育ててやりたいものです。

実行委員長 松田健二

一日健康教室に参加して

先白、公民館において一日健康教室が開かれました。議題は「心と身体の健康」で松村清年先生のお話で、先づ昔から「風邪は万病の心」と云うけれど、そうではなくて風邪によく似た症状の病気がたくさんあると云うこと、病氣は自分で判断せず葉は自分の身体にあったものをのむこと、子供の分が残って

一日健康教室開か

いるからと云うので、もしさきめはない、ちなみに先生の風邪引をなおす方法はゆっくりと風呂につかりアルコールと温いうどんを食べぐつすりとお汗をかき

ことが大切。「床に入ってテレビを見たりではだめ」これを見たり返すこと、抗生物質の薬を多くのみ副作用の弊の多い現状では自分の健康は自分自身の責任で守ると云う意識も大切だと痛感いたしました。次に「病は気がから」と云う言葉があるけれど必ずしもそうとは云えないといろいろ病名をあげての説明でした。ユーモアをまじえ大変楽しく良いお話でした。私の感じたことはこうした良

環境美化運動の成果

環境美化活動も十年の年輪となり、その実績も一段と輝やかしいものになって来ています。町内会のみならず、青年団、婦人会、少年研修館生等、地区内老若を問わず力を出し合って美しい環境と生活の場づくりを頑張っています。今年も町民憲章推進に力を入れており、町民憲章の第一項「自然を愛し、環境をととのえ美しい町をつくります」を地区住民の合い言葉に、今後ともこの事業に努めて行きたいつもりです。

田中美智子

壮年部の活動活発

青田廻りとマレットゴルフ

壮年部では六月十日から三回にわたり成年部と共催、早朝青田廻りを実施、県や農協の農業技師の丁寧な指導もあって、毎回多数の参加があり熱心に研修しました。今年は後半の好天候も幸し、相当な豊作が期待できると思います。またサツキのシーズンには、山崎山崎先生の指導で盆栽の講習もやり、盛会でした。七月五日には高瀬遺跡で今日、盛んなマレットゴルフの集いを行い、健康で楽しい一日を過ごしました。

今後、稲作などの農事反省会や「郷土の歴史をさぐり会」正月用の盆栽作り教室、南山見地区の未来を語る会などを計画しております。 沢田記

少年研修館教室紹介

私と音楽

音楽教室 山水キン子

私の子供の頃、オルガンやピアノは学校にだけあってとても大切にされ生徒にはさわらせてもらえないので尚更さわってみただかった。その為か、私は教える子には珍しい楽器には是非さわらせてやりたかった。

ここ南山見小学校に在職中も受持った子には遙々私の家まで連れて行き、一人ずつ爪をはめて琴にふ水させた時の喜びようは、言葉では言い表せないものでした。私は七才の時からお琴と三弦を習っていたのが、どうやら今日の私を導いてくれた様に思えます。

世の中の非常な進歩と共に今は小学校の音楽の授業にはオルガンを机がわりとして、一人一台与えられ蓋を開ければすぐ弾けるようになっております。喜ばしい事ですね。

音楽は橋樑を豊かにし、非行の防止へもつながる大切な教育だと私は信じております。

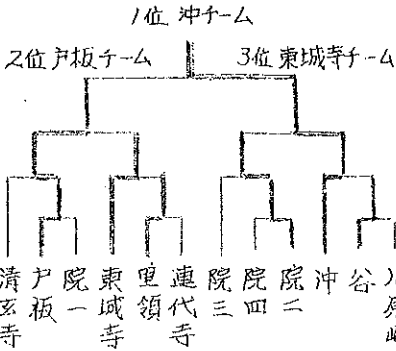
第六回井波町文化祭

十一月一日、三日

バレエボール教室と 地区バレエボール大会

八月五日から十五日まで
約十日間、町教育委員会委
嘱のバレエボール教室が開
催されました。

当地区で開かれ、また講
師も顔なじみの優秀な方々
ばかりとあって大勢の参加
を見、パス・サーアの基本
練習から、スパイク・フカ
ツクまで、厳しい中にも和
気あいあいのふんいきで連
日心地良い汗を流しました。
八月十五日、今までの練
習の総仕上げとして才二回
南山見地区バレエボール大
会が開かれました。



児童クラブよい子の活動 少年研修館

七夕づくりと清掃奉仕

七月五日、子供達が集し
みにしていた七夕づくり。
当日は、南山見PTA地域
活動の開講式もあり児童全
員集合。思い思いの短冊作
りにはげみ、見る見るうち
に大きな七夕が三本完成。
七夕にがこまれて開講式
を行う。

又、八月三十日午前六時
より地区全児童による清掃
奉仕を行う。上級生は通学
バス停、下級生は公民館の
清掃に別れ、決められた時
間内に終わるよういっしょ
けんめいです。中には、危
つかしい力マの使い方を見
かね、親が交代で草刈をす
る場面もありましたが、時
間内で清掃奉仕終了。
奉仕の後の朝のラジオ休
撮、子供達もすがすがしい
気持ちで行っているようでし
た。
また新学期もガンバって
くれる事と思ひ、目を細め
ました。
山本安俊

お金の

町内単位活動

いろいろ

お金に院瀬見の住民が誰
でも参加でき、皆が集しめ
る催せとの主旨で四年前青
年会が始めたのが「納涼の
ど自慢大会」である。今年
も十六日晩七時から始まっ
た。登壇篠原会長等青年会
員により春日社に設営され
た特設ステージでは、出場
者の熱演がくりひろげられ
た。出場者は二十名、今年
の最優秀賞は田中一夫さん
の頭上に輝いた。前川記

十六日の夕方、今里神明
宮境内で恒例のバーベキエ
ーが始まった。肉や野菜が
焼け、ビールやジュースの
栓もぬがれ、だんだん笑い
声が高まる頃から才二回重
領カラオケ大会。はじめは
やや遠慮気味だった若いお
母さん、お金で帰省中のA
オッチマン、B姉ちゃんの
特別参加もあっていよいよ
盛会、青年会長から審査発
表があり終る。朝倉記

成年部活動成果あげる

成年部「町長と語る」

町長の冒頭の挨拶は「井波中
と教育の問題でした。特に町政
の発展は人作りにあると強調、
地域ぐるみで関係者と取組んで
いると、次に転作の問題、只
単に大豆、大豆だけでなく、地
域に合ったものは何か、今後転
作の長期化に対応できる農業の
方向づけをめざし、皆の意見を
出してほしいと要請される。

また町発展のための企業誘致
についても既存企業の発展とパ
ランスのとれた形ですすめる。
さらに才二回調の行政の在り
方では町民に信頼される役場に
なるよう努めたい、また回庫補
助率低下の方向にある環境整備
事業「農道補装、生活関連道路
について一層努力し、懸案の
地区体育館建設も早々に考えた
いなどざっくばらんに語られた。
教育については、成年部も「教
育長を囲んで」を開催するなど
地域発展のための活動の輪をさ
らに広げていこうとの決意を新
たに、有意義な会を終えた。
教養部 松井記

|| 体力づくり ||

レクリエーション ||

朝六時、豪雨をういて出
発。高速度を走る車窓から
みる日本海の荒波にも、い
ささか不安な出発であった。

だが、休んだ「尼御前」
より漸次快方にむかい、滝
谷寺に着いた頃は、雨具
はいらなかつた。

参道に並ぶ老杉の時
折り落ちる前どこに立つ
雨しずくに越えても鑑
永年の歴史と賞に値する
のうるおいと寺といわれた
を感じなが谷庭園が忘れ
ら寺へ入る滝うらない。

貴重な文化呼鳥門の
ある越前海岸、旅程により
一挙につつ走った。台風の
余波が僅かに残る眺望は、
今日の期待に充分報いてく
れるものであった。

五時前帰着。「三波春夫
シヨウ間にあつてよかつた
ね。」バスガイドのことば
が印象的だった。

亀田(新)記

|| 婦人会活動 ||

敬老会によせて

去る八月二十六日に、井
波町敬老会が「山だま」で
催されました。南山見地区
で七十五才以上の方は百二
名おられますが、当日は六
十九名の方々が参加されま
した。大広間での式典で町
長や連合副会長の祝辞のあ
と、賞状と記念品が一人一
人に贈られ、お昼には婦人
会員によるアトラクション
の民謡や踊りで、楽しく適
しておられるのを眺めると、
連日の練習の疲れも忘れ一
緒に喜び合ひそれと同時に
いつまでも御健康で長生き
していただきたいと念じて
おります。又廊下の片すみ
で恋人のように寄りそい話
り合つておられる光景は、
ほほえましくいつまでも私
の脳裏から離れることばな
いでしよう。

婦人会 松田記

井波町体育祭(井波中)

十月十一日午前九時

土地改良事業の進展

昭和五十年度に着工した
この事業も、面の工事から
仕上の段階に入りました。
昭和五十六年度中には、
暗渠排水工事も全耕地面積
の85%ぐらいいまですべて
いと思つております。明年
度で、待望の暗渠排水事業
の完了と左川かんぱい事業
に関連する底地のパイアラ
イン工事および震道舗装工
事を柱に、事業費の獲得に
向け最大の努力をしております
ますが、「臨調答申」の折
柄、なかなか厳しいよう
です。

この事業にふさわしい仕
上工事を願ひ、今後ともよ
きアドバイスをお願いしま
す。

山本記

南山見地区体育祭

十月四日十二時半

南山見地区文化祭

十一月十五日

編集後記

箭原館長を迎えての活動年度
も、早や半ばをすぎようとして
おり……。

館長独特の手腕を奮って頑張
つています。
また、当公民館書記の岩崎君
は若くて、大変気力の持主で各
種団体の会合の連絡事務、公民
館会計等テキパキとこなし、手
控ま時間には館の囲りの雑草を
一口口に……。へ年に三、四回
新松城によつて。

老若男女を問わず公民館利用
の方々から重宝がられ、可變が
られていきます。

公民館利用についての相談
には、いつも笑顔で応じます。
どうも気軽に申し付け下さい。
後になりましたが、皆様から
の原稿を紙面の都合で割愛させ
ていただきましたが、真意をお
伝えできると努力をいたしました。
公民館についてのご意見等、何
とぞ多くお寄せ下さいませよう
お待ちしております。

Y記